

■運用業務一覧

出典
 ①現行設計書「A-7_運用設計書」
 ②R4運用最終報告書
 ③デジタル・ガバナンス推進標準ガイドライン解説書
 (https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/e2a06143-ed29-4f1d-9c31-0f06fca67afe/877c4117/20230512_resources_standard_guidelines_guideline_01.pdf)

#	分類	実施主体	検討要否	業務名	①	②	③	業務概要	必要機能	必要な構成要素
1	システム維持	運用ベンダー	要	システム監視	○	○	○	・情報システムの稼働状況や利用状況の監視等を行う ※起動しているコンテナの稼働状況を監視し、コンテナ起動数のオートスケールが可能 ※API Gatewayに対する一定期間内のAPI呼び出し回数や4XXエラー数を監視し、運用担当者への発報が可能 ※DNSのマネージドサービスにより、URLの死活監視が可能 ※ログ管理のマネージドサービスにより、ログへの特定のエラー・メッセージ出力の監視が可能	・稼働状況監視 ・アクセス監視 ・URL死活監視 ・ログ監視	・Amazon CloudWatch ・AWS Fargate ・Amazon ECS ・Amazon API Gateway ・Amazon Route 53 ・Amazon CloudWatch Logs ・Amazon VPC Flow logs
2	システム維持	-	不要 # 6「データ登録・更新」の際にリデューンチェックを行い、データの異常・不整合等を検出する	データ監視			○	・情報システムで用いられるマスターデータや業務の過程で生成される業務データの、異常・不整合等を検出する	-	-
3	システム維持	CSP	不要 CSPの責任範囲のため	防犯監視			○	・施設・区域等に対する物理的な不正侵入や火災の発生有無等を監視する	-	-
4	システム維持	運用ベンダー	要	ジョブ運用	○			・ジョブを適切に実行するため、ジョブのスケジューリング・管理を行う ※サービス構成要素で実行するジョブのスケジューリングを含むジョブ管理をマネージドサービスで設定可能	・ジョブ管理	・Amazon EventBridge Scheduler
5	システム維持	運用ベンダー	要	ログ運用		○		・単調増加するログファイルについてストレージサイズの増加によるランニングコスト増加を防ぐため、ログの削除・圧縮を行う ・日付や曜日でローテーションするログファイルについて、外部アクセスの調査や操作のトレースのため、ログのバックアップを行う ※ログ管理のマネージドサービスにより、ログ削除、圧縮、バックアップの設定が可能	・ログ削除 ・ログ圧縮 ・ログバックアップ	・Amazon CloudWatch Logs ・Amazon VPC Flow logs ・Amazon S3
6	システム維持	運用ベンダー	要	ログ解析			○	・情報システムのログの解析結果を確認し、画面や機能の利用実態や問題等を把握する ※ログ解析のマネージドサービスにより、ログの分析や問題の検出が可能	・ログ解析 ・ダッシュボード作成	・Amazon Detective ・Amazon CloudWatch
7	システム維持	運用ベンダー	要	バックアップ運用		○		・障害発生時やデータの不整合が発生した際に復旧可能にするため、データのバックアップ管理を行う ※DBMSのマネージドサービスにより、バックアップの取得が可能	・データバックアップ	・Amazon Aurora Serverless V2
8	システム維持	経済産業省	要	計画停止運用	○		○	・事前に計画したスケジュールに基づき、定められた手順で告知した上で、情報システムの停止・再起動を行う ※CDNの設定変更により、遷移ページからメンテナンスページ、メンテナンスページから遷移ページへのアクセス切り替えが可能	・計画停止アナウンス ・メンテナンスページ切替 ・遷移ページ切替	・Amazon CloudFront ・Amazon S3 ・AWS WAF
9	システム維持	運用ベンダー	要	データ登録・更新			○	・GZSインフラに追加するデータのフォーマット変換、データ追加を行う ※サービスの構成のため、データ取得やリデューンチェック、フォーマット変換、データ取込	・データ取得 ・リデューンチェック ・フォーマット変換 ・データ取込	・AWS Fargate ・AWS Lambda ・Amazon S3 ・Amazon Aurora Serverless V2
10	システム維持	運用ベンダー	要	障害対応			○	・経済産業省やエドコエーからのインシデントの受付、記録、問題管理、変更管理への切り分け、承認依頼、変更状況の監視、結果確認を行う ※インシデントの発報は# 5「システム監視」で対応し、インシデントの受付から記録、問題管理、変更管理はクラウドサービスとは別に実施する必要がある	・インシデント受付 ・インシデント記録 ・問題管理 ・変更管理	-
11	システム維持	運用ベンダー	要	データ維持管理業務			○	・インシデント発生時に異常や不整合が生じたデータの修正又は削除を行う ※Bastionのマネージドサービスにより、踏み台サーバなしの構成でDBに対するデータバックアップの適用が可能	・データバックアップ	・AWS Systems Manager ・AWS Fargate ・Amazon Aurora Serverless V2
12	システム維持	運用ベンダー	要	セキュリティ対応		○		・脆弱性情報の収集、及びシステムへの侵入検知を行う ※セキュリティ関連のマネージドサービスにより、コンテナの脆弱性情報や侵入検知が可能	・脆弱性情報収集 ・侵入検知	・Amazon Inspector ・Amazon GuardDuty
13	システム維持	運用ベンダー	要	情報資産管理			○	・ハードウェアやソフトウェア製品、ネットワーク等の情報システムを構成する資産（製品名、取得額、バージョン、ライセンス期間等）の管理を行う ※ハードウェアを構成する資産はCSPの責任範囲のため、管理不要 ※ソフトウェアやネットワークを構成する資産はマネージドサービスにて管理可能	・情報資産管理	・AWS Systems Manager
14	システム維持	運用ベンダー	要	システム構成管理			○	・ハードウェアやソフトウェア製品、ネットワーク等、管理すべきサービスの構成情報（設定情報、IPアドレス、ポート接続情報、回線情報等）を管理する ※システム構成をIaCのサービスを利用し、ソースコードで管理可能	・システム構成管理	・AWS Code Pipeline ・AWS CloudFormation
15	システム維持	運用ベンダー	要	情報システムの設定変更管理			○	・保守事業者の依頼内容及び監視項目ごとに事前に定めた手順に基づき、情報システムの設定変更等を行う	・設定変更管理	・AWS Config
16	システム維持	運用ベンダー	要	本番環境へのアプリケーションプログラムのリリース作業			○	・アプリケーションプログラムの本番環境への適用作業、リリース対象に特化した稼働状況確認を行う ※CI/CDのマネージドサービスの利用により、リリース作業の工数削減が可能	・コンテナデプロイ ・Lambdaデプロイ ・静的コンテンツデプロイ	・AWS Code Pipeline ・Amazon ECR ・Amazon S3
17	システム維持	CSP	不要 CSPの責任範囲のため	本番環境へのハードウェアのリリース作業			○	・ハードウェア保守事業者による予防保守等による機器や部品交換に伴い、必要となる情報システムの停止、再開を実施する	-	-
18	システム維持	-	不要 コンテナ技術を用いており、ソフトウェア製品もコンテナに含まれるため、# 23「本番環境へのアプリケーションプログラムのリリース作業」の作業に含まれる	本番環境へのソフトウェア製品のリリース作業			○	・保守事業者の依頼内容に基づき、セキュリティ/バッチの適用やアップデートを実施する	-	-
19	システム維持	経済産業省	要	システム監査対応			○	・システム監査対象に指定された場合、ヒアリングや情報提供等の協力を行う	・ヒアリング回答 ・情報提供	・Amazon CloudWatch Logs ・Amazon VPC Flow logs ・Amazon S3 ・AWS CloudTrail
20	システム維持	経済産業省	要	セキュリティ監査対応			○	・外部事業者によるセキュリティ診断を受ける場合、ヒアリングやログの提供等の協力を行う	・外部事業者選定 ・ヒアリング回答 ・ログ取得	・Amazon CloudWatch Logs ・Amazon VPC Flow logs ・Amazon S3
21	システム維持	運用ベンダー	要	大規模災害時対応			○	・大規模災害時対応の手順確認、リハーサルを実施する	・DR環境起動 ・向き先変更	・AWS Code Pipeline ・Amazon Route 53
22	ユーザサポート	運用ベンダー	要	問い合わせ対応		○	○	・情報システムの利用者である職員や外部利用者のサポートを行うためのヘルプデスクを設置し、運用する ※メール送付のマネージドサービスにより、メールサーバのHWやOSの管理は不要となる	・問い合わせ受付 ・問い合わせ管理 ・問い合わせ回答	・Amazon SES ・問い合わせ管理サービス（外部SaaS）
23	ユーザサポート	-	不要 次期GZSインフラで運用予定ではないため	コールセンター業務			○	・情報システムの利用者である職員や外部利用者のサポートを行うためのコールセンターを設置し、運用する	-	-
24	ユーザサポート	運用ベンダー	要	アクセス管理			○	・情報システムに係るID発行・削除を行う	・ID発行 ・ID削除	・AWS IAM
25	ユーザサポート	運用ベンダー	要	業務運用支援作業			○	・データ作成、データ受付・登録、大量複製印刷等の情報システムや業務の運用に当たり必要となる作業を実施する	・データ作成支援 ・データ登録支援	-
26	ユーザサポート	運用ベンダー	要	利用者からの定型変更対応			○	・人事異動等による情報システムの利用者に対する権限の追加や削除、アカウントロック時の対応等を行う ※権限管理のマネージドサービスの利用により、適用するポリシーの追加・削除を行って対応可能	・権限追加 ・権限削除	・AWS IAM
27	ユーザサポート	-	不要 次期GZSインフラで運用予定ではないため	利用者教育支援			○	・利用者に対する継続的な操作研修を実施する	-	-
28	報告	運用ベンダー	要	定期報告			○	・定期報告 各運用作業の実績、工数等を定期的に報告する。また、ハードウェア、ソフトウェアを含むシステム機能としての障害実績を整理し報告する	・定期報告書作成 ・定期報告会実施	-